

◎「会員だより」

6月号の「特集（首都直下地震道路啓開計画の改訂（第3版）」）を読んで、いどこで発生するかわからない地震ですが、東日本大震災の櫛の歯作戦以降、道路啓開について世間の認知度が高まるとともに、その迅速さに注目が集まっています。少しでも早い道路啓開ができるよう、計画を立案しておくことが重要で、常日頃から情報収集、関係機関との連携が必要であると改めて思いました。
匿名希望（高速道路会社勤務、32）

5月号の「特集」は「地域活性化の推進」で、私が住んでいた地域や、よく旅行で行った地域の取組みなどが紹介されていました。その場所が住みやすい、居心地がよいと感じるのは、地域活性化に向けた取組みをされているからだと思っていました。
匿名希望（高速道路会社勤務、31）

6月号の大石会長の「上徳不徳」を拝読しました。報道機関によるインフラ整備に関する批判について、理路整然と誤りを指摘しており、出版物を読むときの心構えを学ぶきっかけにもなり、大変参考になりました。
匿名希望（札幌市勤務、38）

5月号の「技術資格取得のすすめ」では、各資格試験の概要等が掲載されていました。受験を考える職員にとってとても助かっています。
匿名希望（栃木県勤務、41）

6月号の「新技術レポート」を読んで、GPSの届かない屋内を飛行できるドローンは、今後、トンネル等の点検で有効に活用できると思いました。
匿名希望（青森県勤務、35）

5月号の「会計検査情報」を読みました。横走り配管の振れ止めは、経験を積んだ技術者も安易に施工承諾してしまいがちな事例であると思われます。ある程度の口径があれば門型ブラケットを採用しますが、小口径ではつり金物でいいかと考えてしまいます。基本的な基準の再確認は大切ですね。
匿名希望（市町村勤務、46）

6月号の「巻頭言」の「流域治水時代の幕開け」を読みました。ハード整備には費用も時間もかかります。ソフト対策を含めた流域に関わる全ての関係者の協働の積み重ねが大切であると思いました。
匿名希望（市町村勤務、37）

5月号の「災害査定留意点」を読みました。当県も自然条件や地形上、災害事業を多く行っています。その中で下水道事業に2年ほど携わりましたが、本県は下水道後進県であり、下水道における災害案件は非常に参考になりました。
堀貴宏（和歌山県勤務、48）

毎月「表紙」の写真を楽しみにしています。近隣に赴いた際には、立ち寄りたりしています。
大島幸雄（佐野市勤務、58）

6月号の「基礎から学ぶ市街地再開発事業（1）」を読みました。これまで携わったことのない分野ですが、初歩から解説されていて非常に勉強になりました。
匿名希望（都道府県勤務、35）

毎年、全国どこかで災害に見舞われています。災害における工法も毎年のように変わり、技術力を向上していかなければというも感じています。それを補うため、月刊「建設」で全国の実例を読むことはとても役に立っています。
匿名希望（都道府県勤務、64）

6月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」で、神戸市の「技術職員のスキルアップ計画」の取組みを読みました。当県における課題と同じ状況が、他の自治体でもあるのだと気づき、少しホッとしました。時代背景を踏まえた現状分析と課題整理、その対応策をされており、大変参考になりました。
匿名希望（都道府県勤務、56）

月刊「建設」を読むことで、現在のトレンドがよく分かります。「技術資格合格体験記」では、生の声が聞けるので、資格取得のモチベーション向上に繋がります。
匿名希望（高岡市勤務、35）

6月号は「災害発生！そのとき」の「東日本大震災の対応」は興味深く読みました。南海トラフ大地震が今後30年以内に70～80%と想定されており、当県においても初動対応と道路啓開の体制が課題となっています。この実体験を読んで、道路啓開の体制づくりを考えたいと思いました。
匿名希望（都道府県勤務、39）

建設系公務員賠償責任保険の加入を考えていたので、「公務員技術者の訴訟リスク」は興味深い内容でした。
匿名希望（都道府県勤務、37）

6月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」の「最近の若い技術者は...」非常に優秀です」を読みました。タイトルに全く同感です。また「土木技術者の良心を忘れるな。」という先輩の言葉、私も心に留めたいと思いました。
匿名希望（都道府県勤務、45）

明石海峡大橋の「実地研修会（兵庫県）」に参加しました。一般では入れない場所を見学できて貴重な体験ができました。橋梁の業務に携わっていませんが、異業種の分野への理解を高めたいと思いました。
匿名希望

大河津分水路改修事業の「実地研修会（新潟県）」に参加しました。分水路の歴史を学ぶことができ、全建の研修がこれほど有意義なものだと思っていませんでした。今後の事業の進捗に応じて現場を再度訪問したいと思います。
匿名希望

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合はクオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、右のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail：kensetsu@zenken.com

